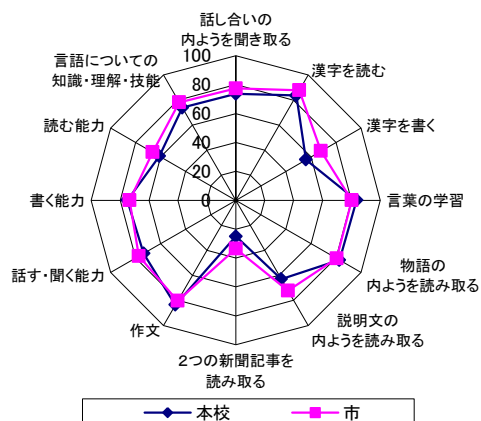


宇都宮市立上河内東小学校 第5学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの円ようを聞き取る	73.6	77.4
	漢字を読む	83.6	87.9
	漢字を書く	56.0	68.1
	言葉の学習	83.6	80.2
	物語の円ようを読み取る	82.8	80.6
	説明文の円ようを読み取る	62.9	72.3
	2つの新聞記事を読み取る	25.0	33.5
	作文	83.6	80.3
観点別	話す・聞く能力	73.6	77.4
	書く能力	75.0	73.4
	読む能力	61.1	66.4
	言語についての知識・理解・技能	73.9	78.2



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの円ようを聞き取る	・平均正答率は、73.6%で、市の平均を3.8ポイント下回った。話し手の意図を考えながら、話の内容を聞くことや話し手の意見の相違点を聞き取り、自分の意見を話すことはできていたが、司会者の工夫を考えながら話の内容を聞くことは、市の平均を下回った。	・国語の時間に話し合いの仕方について全体指導をしていく。特に、司会者・発表者の役割を再確認するとともに、様々な場面で全員に司会の経験をさせていきたい。また、普段から話をよく聞く態度・習慣を身に付けさせていきたい。意識して聞く場面を授業の中で多く取り入れていきたい。
漢字	・漢字を読むの平均正答率は、83.6%で市の平均を4.3ポイント下回った。漢字を書くは、56%と12.1ポイント下回った。80%以下が半数を占め、4年生で習った漢字の読み書きが定着していない。	・4年生の漢字を復習をするとともに、日常の作文や連絡帳、感想文の中で習った漢字を使えるようにさせていく。辞書を活用し、言葉の意味とともに漢字の読み書きを習得させていきたい。
言葉の学習	・平均正答率は、83.6%で市の平均を3.4ポイント上回った。ことわざの使い方や句読点の打ち方については市や全国の平均を上回った。接続語の理解がやや平均より下回った。	・接続語についての正答率が低かったことから、接続語の学習を行い、その意味や使い方を理解させるとともに、作文を書くときにも積極的に使用させていく場面を多くしていく。
物語の円ようを読み取る	・平均正答率は、82.8%と2.2ポイント市の平均を上回った。登場人物の様子や登場人物の心情の読み取りは、市や全国の平均を上回った。	・朝の読書を1年間継続して行ってきた。いつも手元に本を置き読書をしていた児童も多かった。読書活動の成果が出てきたと思われる。引き続き読書の推進を行う。また、文学的文章を扱う単元では、物語を読むために必要な手がかりを与え、文章を根拠に解釈できるように指導していきたい。
説明文の円ようを読み取る	・平均正答率は、62.9%と市の平均を9.4ポイント下回った。文章の内容を的確に押さえながら読み取ることや段落のまとまりを考えながら読み取る問題の正答率が低かった。	・説明文の読み方のポイントを指導するとともに、説明文を扱う単元で、文章と文章のつながりや段落同士の関係についての正しい解釈や指導を行っていきたい。
2つの新聞記事を読み取る	・平均正答率は、25%で市の平均を8.5ポイント下回った。二つの文章の相違点を読み取り、まとめる問題の正答率が低かった。	・ふだんから自分の考えをまとめて書くという機会を増やしていきたい。相違点を見つける視点を与え、考えさせていきたい。
作文	・平均正答率は、83.6%と市平均より3.3ポイント上回った。指定された長さで文章を書くことや自分の意見と感想を区別して書くことはできたが、二段落構成で文章を書く項目では、やや市の平均を下回った。	・機会があるたびに書く活動は、行ってきた。段落という意味を理解していない児童がいるので、説明的文章を扱う単元や作文を書く学習で再度確認していきたい。段落構成を意識した文章が書ける力を育てていきたい。